浜田市農林業支援センター情報誌

TEGO（てご）ネットだより浜田

No.155
2023. 12 月号

「てご」とは手伝う（支援する）という意味の方言です

特集 バイオ炭講演会を開催しました！

11 月 30 日に、バイオ炭講演会」を弥栄会館で開催しました。本講演会は、オーガニックビレッジはまだプロジェクトの第 2 弾として、地域資源であるもみ殻を活用した取組を進めるにあたり、バイオ炭の第一人者である立命館大学 OIC 総合研究機構客員教授、一般社団法人日本クルベジ協会代表理事の柴田晃先生を講師にお招きし、「バイオ炭を使った農地炭素貯留と農作物のエコブランド クルベジ　COOL VEGE」についてお話しいただきました。

柴田晃先生

クルベジとは、炭を埋めた畑で栽培した野菜を指します。クルベジを作ることで、地域の木資源を活用して循環させることができ、また、大気中の二酸化炭素の減少に貢献し、地球を冷やすことにつながる取組です。

講演会の様子

また、もみ殻くん炭を土に入れることで、水はけや通気性がよくなり、また、保水性・保肥性を高める効果もあります。土壌の排水性・保水性が改善されることで、土壌微生物が増える効果もあるとのことでした。

当日は約 40 名が参加し、バイオ炭が注目されている背景やバイオ炭活用について熱心に聞かれました。

翌日には、これからもみ殻燻炭事業を始める農事組合法人 Dream Agri や有機生産者の視察も行いました。これまで未利用資源であったもみ殻を燻炭にして販売することで、法人の経営改善が図られるとともに、地域の生産者にもみ殻燻炭を使っていただくことで、資源循環が生まれます。

今後、浜田市では、バイオ炭の普及を進めるとともに、バイオ炭を活用したクルベジや J クレジットなどの取組も進めることで、産地としての付加価値を高め、地域資源が循環するオーガニックビレッジはまだを目指します。

視察の様子→

【報告】オーガニックビレッジ研修会を開催しました

11 月 19 日、市内の栄養士の方を対象としたオーガニックビレッジ研修会を開催しました。

浜田市が進めるオーガニックビレッジの取組についてお話しした後、弥栄町の小松ファームにお伺いし、ほ場を見学していただいたり、小松原社長からは有機農業や食に対する思いをお話しいただきました。

オーガニックビレッジの取組を進めて行く上で、食は欠かせない要素であるため、実際に栄養士の皆さんに生産現場を見ていただく良い機会となりました。

今後、更に一緒に取り組みが進めていければと思います。

【お知らせ】各種研修会が開催されます

認定農業者の方などを対象とした「農業経営者スキルアップ研修」及び「令和 5 年度担い手研修会が開催されます。今回は同日開催となっており、この機会にぜひレベルアップを図ってみてはいかがでしょうか？

参加ご希望の方は、令和 6 年 1 月 4 日（木）までに農林業支援センターまでご連絡ください。

農業経営者スキルアップ研修会

【西部会場】

〇日時：令和 6 年 1 月 18 日（木）
10:00 ～ 12:00

〇会場：いわみーる 401 研修室

〇内容：●「強い」農業経営を実現するために
～経営改善のポイント～（75 分）
●「選ばれる」経営とは
～人材確保・育成のポイント～（40 分）

〇講師：鈴木　大輔　氏
（中小企業診断士、社会保険労務士等）

〇対象者：認定農業者、認定新規就農者、集落営農法人等、関係機関

〇参加費：無料

※1/17(水)に東部会場(出雲市)でも開催されます。

令和 5 年度担い手育成研修会

【西部会場】

〇日時：令和 6 年 1 月 18 日（木）
13:00 ～ 15:00

〇場所：いわみーる 401 会議室

〇内容：「農業者の消費税」インボイス制度の下での記帳事務、税務申告について

〇講師：渡部仁志税理士事務所　渡部　仁志氏

〇対象者：認定農業者、認定新規就農者、集落営農法人等、関係機関

〇参加費：無料

※1/17（水）に東部会場（出雲市）でも開催されます。

当情報誌は、新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様に配信しています。
ご意見や記事掲載のご希望は下記までご連絡ください。

浜田市農林業支援センター（農林振興課 普及支援係）　〒697-8501　島根県浜田市殿町 1 番地
TEL：0855-22-3500　FAX：0855-22-3477　E-mail：n-shien@city.hamada.lg.jp